

後援会だより



2023年 春の忍ヶ丘祭 & 夏の忍ヶ丘祭

春の忍ヶ丘祭

春の忍ヶ丘祭実行委員長
保育科2年

山田 恵梨香



多くの方々に支えていただきひなた木の花ドームにて春の忍ヶ丘祭を開催する事が出来ました。開催するにあたり、コロナにより春忍を経験したことなかった私たちは多くのことで頭を抱えました。“どうしたらみんなが楽しめるものになるか”ということが学友会の中での大きな課題でした。新体制で初めてのイベントだったため初めはお互いに気を使いあっていた学友会でしたが、一つ一つの課題を乗り越えるごとに私の中で“このメンバーなら大丈夫!”と思えるようになりました。みんなの楽しむ様子を見ていると本当に計画して実行することができて良かったと心から思いました。ありがとうございました!

夏の忍ヶ丘祭

夏の忍ヶ丘祭実行委員長
現代ビジネス科2年

清水 美羽



春の忍ヶ丘祭が終わってからすぐ、夏の忍ヶ丘祭の準備を始めました。一年生の新役員を含めたはじめての活動ということもあり、はじめは慣れないことも多く、手探りの状態でした。しかし、学友会のメンバーや先生方と協力し、どうしたらみんなが楽しんでくれるだろうか、と考えながら準備を進めました。夏忍の七夕当日は数年ぶりに天候に恵まれ、開催することができました。今回の一大イベントでもあった学内で初めての花火大会も行うことができ、無事、夏の忍ヶ丘祭は幕を下ろすことができました。来年以降は、今年の実省を活かして、より良い新しい夏忍を後輩たちにつくってほしいと思います。

現在の就職状況

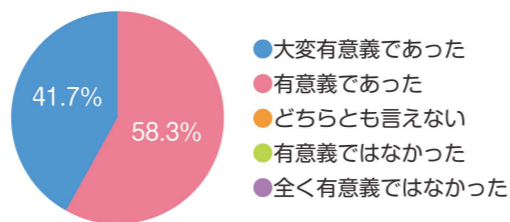
キャリア教育センター

本年度は、新型コロナウイルス感染症が感染法上5類に移行したことから、対面での就職説明会・採用試験が多く開催されています。現代ビジネス科の学生は、3月から始まった就職活動が長期戦になっておりますが、順調に内定を頂いております。保育科・専攻科の学生については、求人票の情報だけで判断せず、夏期休暇中に希望する園での見学実習を行い、総合的に判断し、採用試験を受けるよう指導しておりますので、10月以降の内定ということになります。現在、宮崎市ほか地方自治体、独立行政法人等に、例年以上に多数の採用が決定しております。今後、全員採用決定に向け、邁進してまいりますので、ご家庭でも学生へのサポートをよろしくお願いたします。

保護者会について

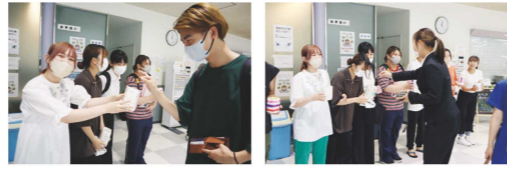
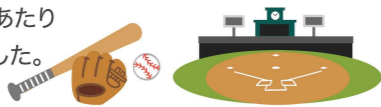
学生部

初夏の陽気となった令和5年6月3日(土)、本学に在学する全ての学生を対象に、後援会総会、並びに保護者会を開催いたしました。アンケートには、多くの方々から「有意義であった」との回答が寄せられ、保護者の皆様と対面でお話を交わす機会を得られたことをとても嬉しく感じております。有難うございました。



祝! 宮崎学園高校野球部 甲子園出場!

宮崎学園高校野球部の甲子園出場にあたり本学学友会主催で募金活動を行いました。ご協力ありがとうございました。



令和5年度後援会役員一覧

| 役職名 | 氏名 | 学科/学年 | 役職名 | 氏名 | 学科/学年 | 役職名 | 氏名 | 学科/学年 |
|-----|--------|-----------|-----|-------|------------|-----|-------|-----------|
| 会長 | 甲斐 聖治 | 保育科2年 | 理事 | 児玉 陽子 | 専攻科 | 会計 | 大窪 裕美 | 現代ビジネス科2年 |
| 副会長 | 森 永博志 | 現代ビジネス科2年 | 理事 | 湯地 寿 | 事務局長 | 会計 | 袁 部 初 | 総務部次長 |
| 副会長 | 木村 匡登 | 学生部長 | 理事 | 保田 昌秀 | 教務部長 | 監査 | 森 保博 | 現代ビジネス科1年 |
| 顧問 | 村上 昇 | 学長 | 理事 | 後藤 祐子 | 保育科長 | 監査 | 米丸 朱美 | 保育科1年 |
| 理事 | 上田 晶子 | 保育科1年 | 理事 | 井上 浩義 | 現代ビジネス科長代行 | 書記 | 村社 紅美 | 保育科2年 |
| 理事 | 堀之内 裕枝 | 保育科2年 | 理事 | 山田 秀人 | 入試広報部長 | 書記 | 立本 裕貴 | 保育科2年 |

困難を乗り越える力

後援会会長 甲斐 聖治



この度、後援会会長を務めさせていただくことになりました。後援会会員の皆様及び関係者の皆様には、日ごろから、後援会活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、学生の皆さんは、高校時代からの貴重な4年間を、新型コロナの中で過ごしてこられました。その間、様々なやり場のない感情を胸の中に抱えていたのではないのでしょうか。

それでも、仲間とともに前を向き、誠実に、丁寧に、毎日を一歩懸命に歩んできた皆さんには、私たち大人も及ばないような、困難に屈せず周囲の人たちと協力して乗り越える力が培われたのではないかと思います。

今、学生の皆さんは、自分の夢の実現のために、日々の勉強や実習に取り組まれていらっしゃると思いますが、これから、社会はめまぐるしく、大きく変化していきます。

そんな中であっては、皆さんのように困難に立ち向かい、柔軟な発想で新たな価値を創り上げる能力が必要です。学生生活の中で、さらに自分を高めて、社会で活躍してください。

私たち後援会は、学生の皆さんの一番近くにいる、厳しくも優しい応援団として、これからも活動していきます。

皆様、今後も、宮崎学園短期大学後援会活動により一層のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

本学のミッションと今後の展望

学長 村上 昇



「少子化が急速に進んでいる」と言っても、自分の身近な生活に支障が出ないかぎり、深刻な問題とは捉えません。しかし、本学においては、すでにこの少子化が深刻な状況を生み出しています。宮崎県の10年前(2013年度)の高校卒業生の短期大学進学者は694人でしたが、近年(2022年度)では396人と約半分に激減しており、本学も学生定員を充足できなくなっています。地方の小・中規模の私立大学の多くが同様の定員未充足の問題を抱えており、学生募集の停止、4年制大学への編入あるいは公立大学化など、様々な変革を強いられています。

本学の保育科はこれまでに10,000人を超える保育士・幼稚園教諭を宮崎県の約400近い幼児教育・保育施設(保育園、幼稚園、認定こども園)に輩出しており、現在も各施設に送り出しています。仮に本学の保育科が定員充足問題により、募集を停止した場合、どうなるのでしょうか? 宮崎県の各施設は維持できなくなるかもしれません。そうなれば、宮崎県の保育・幼児教育が困難になり、宮崎県は大変な状況に陥るでしょう。

本学は、今後も保育科、現代ビジネス科を通して、地域の活性化のための人材を輩出し続けることをミッションとし、学生定員を確保し、教育・研究に精進していきますので、引き続き、後援会の皆様のご指導・ご鞭撻・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

輝ける忍ヶ丘(学生の成長)

保育科

見学実習に臨むにあたって

9月、短大に入学して初めての实習に行きます。この半年間で学んだ保育の知識や技術を、実際に子どもたちを相手に実践するとても大事な機会です。短い期間ですが、子どもたちと充実した時間を過ごしたいなと、楽しい気持ちです。一方で、子どもたちを前にして自分がしっかり保育者として立ち振る舞えるのか、不安な気持ちもあります。まだ学びの途中ではありますが、今の自分に出来ることを精一杯出せるように頑張ります。保育現場の理解を深め、講義や演習の成果を発揮して、自分の保育者としての力を伸ばすことはもちろん、実習先の子どもたちに対しても良い影響を与えることができるような実習にしたいと思います。



保育科1年
上田 明日香

施設実習を終えて

私は、障がい児・者支援施設ひまわり学園で実習をさせていただきました。この実習では幼児から成人の方まで幅広く関わることができました。またひまわり学園では自閉症スペクトラムに対する支援を中心に1人ひとりに合った支援を行っていました。私はこの実習を通して、1人ひとりの症状や特徴、好きなもの、嫌いなものなどその子どもについてアセスメントをすることでその子どもにあった支援ができることを学びました。私は将来、障がいによりもたらされるであろう壁を少しでも壊していけるような支援ができる保育者になりたいです。そのためにも障がいについての基礎知識をさらに高めていき、幼稚園、保育園で安心して楽しく過ごせるようにするためにはどのような支援を行ったら良いかさらに学びを深めたいです。



保育科2年
立本 伊織

企業実習を終えて

私は九州情報機器コンサル株式会社様で企業実習をさせていただきました。「自分の強みを知る」をテーマに、価値観学習や学生たち自ら企画を立て行うプレゼン大会など、日常生活では学ぶことのできないことを学び、身につけることができました。特にプレゼン大会は、自分が企画した内容を他の学生さんや社員さんに評価していただいたことで、自分の強みや改善点を知る機会となりました。今までは、自分の強みとは何かと聞かれても答えることが出来ずにいましたが、このインターシップを通して、自分の強みを知ることができ、自信を持って答えられるようになりました。この実習を通して身につけた礼儀作法、考え方、そして強みを活かせるように、これからより一層励みたいと思います。



現代ビジネス科1年
宗像 萌々花

医療機関実習IIに向けて

医療機関実習Iでは、多くの部署を見させていただき、医療の現場で働くイメージを持つことができました。医療機関実習IIでは、さらに実践的なスキルを身につけることを目標にしたいと思っています。例えば、患者様とのコミュニケーションや対応の仕方を積極的に学び、実務に活かしていけるようにしたいと考えています。そのために、医療保険制度や宮崎市の助成制度を復習し、的確な窓口業務ができるように準備しています。10日間という短い期間ですが、自分の課題を再認識できる貴重な機会であり、同時に、優秀な事務職員になるために、学びたいことをクリアにできる貴重な場でもあります。患者様は実習生である私にも一職員として見てくださっていることを忘れず、頑張ります。



現代ビジネス科2年
田代 愛理

思いを込めた支援は自分の喜びに繋がると学んだ介護実習

担当の利用者様とのコミュニケーションは、戸惑いの連続でした。筆談を試み、次第に自分の思いを紙で伝えてくださるようになった時には心が通じ合える喜びを味わい、私の名前を呼んでもらえた瞬間は、感動が溢れました。また、一緒に取り組んだちぎり絵活動では想像以上の集中力を発揮され、その人らしさの新たな発見に繋がりました。利用者様が喜ぶ姿を見た私までも嬉しくなり、介護の魅力に触れる貴重な機会となりました。実習前は、学友と円陣を組み気合いを入れなければならない程不安な気持ちでいっぱいでしたが、今では三週間頑張った本当に良かったと感じています。これからも実習先の皆様への感謝の気持ちを忘れず、国家試験合格を目指し励んでいきたいです。



専攻科(福祉専攻)
野崎 さゆり

現代ビジネス科

専攻科(福祉専攻)

教員からのご挨拶

これからの社会を生きる子どもたちと共に

令和5年4月1日に子ども家庭庁が発足し、日本は「こどもまんなか社会」を目指し動き始めました。子どもの声を聴き、子どもと対話することが大事にされ、子どもの最善の利益を考え行動することが求められています。また、OECDが発表した「OECDラーニング・コンパス(学びの羅針盤)2023」で示された「エージェンシー(Agency)」は、これからの社会を生きる子どもたちに育成したい力として注目されています。エージェンシーとは、自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革をしていく力のことです。子どもたち一人ひとりが体験を通して気づき、考え、試行錯誤しながら生きる力を身につけていくことが重要だということです。本学保育科生も、子どもたちと共によりよい未来を創っていく保育者としての学びを、この忍ヶ丘で体験して欲しいと願っています。



保育科長
後藤 祐子

新生！現代ビジネス科順調です

本年度は、実践ビジネスコース「メディカル秘書コース」「司書・メディアコミュニケーションコース」「大学編入コース」の4つのコースに学科改編した完成年度に当たり、学生は、1、2年とも新学科体制の学生として日常の学習活動、資格取得、学友会活動等に前向きに取り組んでおります。特に、2年生の進路決定状況は例年に比べ、数的にも質的にも例年を上回る結果が出てきております。その中でも、公務員試験の合格や国立病院機構への内定など例年になく成果も出つつあります。また、49名が入学した1年生についても、クラス全体の基礎学力が高く、年を追うごとに学生の質が上がってきております。今後とも、学生がより積極的・主体的に学び、現代ビジネス科の教育の質の向上を更に図って参ります。



現代ビジネス科長代行
井上 浩義

生活に寄り添う専門職、「介護福祉士」を養成しています

「保育士」資格があることを入学条件とする専攻科は、1年間の学修で「介護福祉士」国家資格の取得を目指しています。安全で安楽な実践力の習得は一生の財産であり、対人援助に必要な寄り添う姿勢や思いやりのある言葉かけは、今後の人生において高い倫理観や人間力としていかされることと思います。入学後わずか10か月ですが、1月の国家試験や2月の修了研究発表会では目標に向かう強さと成長の美しさにあふれています。入学満足度の高さは、この努力所以ではないでしょうか。修了生は、子どもから高齢者、さらに障害者(児)や病児など幅広い福祉分野で活躍しています。学生時代の経験が、生きる力になってくれることを信じています。



専攻科(福祉専攻)主任
桑迫 信子

新任教員紹介



現代ビジネス科
大場 憲治

令和5年4月より現代ビジネス科に着任いたしました大場でございます。これまで、昭和の時代は、長い学生時代を過ごした後、ほんの3年程度ですが、水門の設計をしていました。平成の約30年はApple Macintoshを中心にコンピュータ業界のなかで生きてきました。今でも自宅ではマック中心です。そして、令和に入り日本赤十字の血液センターで血液の配送という全然違う仕事をしていました。もしよかったですら、献血に協力していただくと嬉しいのですが。

カーリー2階の献血ルームをよろしくお願ひします。今は、情報処理関連、主にDX(デジタルトランスフォーメーション)の研究をしています。DXというのは、デジタル化あるいはIT(ICT)化により世の中が便利になってきたということと全く次元が違うことです。今の構造を壊して、新しい産業を作っていく感じでしょうか。学校も安心できなくなってきています。そろそろ考え方を変えていかないと、ついて行けなくなるかもしれません。



専攻科(福祉専攻)
新名 澄佳

私自身保育士資格を取得し、更に学びたいと考え専攻科に進学し、高齢者の方々と関わりたい、専門的な知識を持って支援したいと介護施設に就職しました。利用者の方々と関わる中で、年齢を重ねていくことが増える中でも、自分の好きなことに取り組み毎日を一生懸命生きる姿、感謝の気持ちをもち「ありがとう」と言える利用者の姿から私自身学ぶことが多く関わらせていただいたことに感謝しています。このような体験をもっと多くの人に体験してほしい

いと思い介護福祉士養成に携わり、「その人らしく」「よりよい人生」を送るための支援について講義や演習の中で伝えていきます。少子高齢化が進む現代において、自分自身をはじめ、家族を安心して預けることのできる保育者、福祉職の育成に努めていきます。